

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

1. 本町には2本の高速道路が通り、平成13年に高松自動車・板野ICが設置され、更に平成15年には徳島自動車道・藍住ICと板野ICとを結ぶ徳島引田線バイパスが整備され、関西経済圏からの四国の玄関口としての役割を担い、広域交流の拠点として発展しようとしています。

しかし、IC・バイパスに通じる町内の県道、また、幹線町道の整備については旧来のままであり、近年はICを利用する大型車両の通行量も激増し、それに伴い、子どもや高齢者、障害者にとっては危険な箇所も多くなっております。

今後は安心・安全な道路整備は勿論のこと、特に交通弱者に優しい歩道等の早期整備、バリアフリー化の推進をしていく必要があると考えます。

2. 橋梁について、本町における一例として、「吉野川水系河川整備計画の、流域市町村長の意見を聴く会」でも要望いたしましたが、町南部・西中富地区の一級河川旧吉野川に中富橋という町道橋が架設されています。当該橋梁は、地域住民の通勤・通学等、生活道路としての機能を有しており、地域内路線として重要な役割を担っております。しかし、幅員が狭く、建築後35年を経過し、老朽化がかなり進んでおります。また、流量ならびに流速がある無堤地区の箇所に架設されており、洪水時には非常に危険な状況であり、地元からは早急な修繕・架替えを望まれております。

吉野川水系河川整備計画の中でも、この地区の築堤等の対策は今後30年以内の整備計画予定には入っていないとのことですが、橋梁の修繕・架替えは、町財政には大きな負担となり、近年の硬直化した財政状況の中で町単独で実施することは非常に困難であります。

昨今、国において、今後高齢化する、地方公共団体が管理する道路橋の急速な増大に対応するために、「長寿命化修繕計画策定事業」が創設されましたが、この事業をはじめ、今後、特に修繕・架替えに係る事業費等について、地方公共団体の負担の少ない新規制度の創設を強く望みます。

また、上記のような、現在危険な町道橋については、河川整備計画の中で優先的に川の堤防工事を計画していただき、橋梁と同時に施行し経費の縮減を図るなど、危険箇所を優先した整備を期待いたします。

平成 19 年 5 月

徳島県板野町長 中 島



国土交通省道路局長 殿



板 野 町 全 図

表 2	400 个 10 年 1 月	
表 3	400 个 10 年 1 月	表 4 10 年 1 月 1 日

この地図は、板野町全図 1:10,000 を縮小したものである。

1 : 25,000

1. _____

2. ○

この測量事業は、貴族院土地測量部の承認及び知照を得て、
 裁判所長の測量結果を従用して得たものである。
 (訴訟番号) 昭和、第三三、号

「この測量結果は、貴族院土地測量部の承認及び知照を得て、
 裁判所長の測量結果を従用して得たものである。
 (訴訟番号) 昭和、第三三、号

(承辦商) 字 14, 2012 年 04 月 04 日